

～利根川の水が北総台地へ届けられた歴史～

北総東部用水は、利根川河口堰及び霞ヶ浦開発を水源として利根川の河口から38km地点で取水し、パイプラインやファームポンドを通じて成田市を含む10市3町の約7,500haの農業地域へ水を供給しています。

この地域は台地と*谷津田地域で構成され水源に乏しく、かつては雨水と湧き水に頼って、乾燥に強いさつまいも、落花生などの生産を中心に農業を営んでいました。

このため、利根川の水を供給して、農業の近代化と農業生産額の向上を目指した農業用水事業の必要性が求められるようになり、昭和45年度に建設事業に着手、昭和56年度から管理を開始し、40年以上経過しています。

その後、北総東部用水に新たに設けた2箇所の取水口から農業用水を取水する国営事業の北総中央農業水利事業が着手され、令和2年度に完了しました。*傾斜林などに囲まれた台地(盆地)にある田んぼ



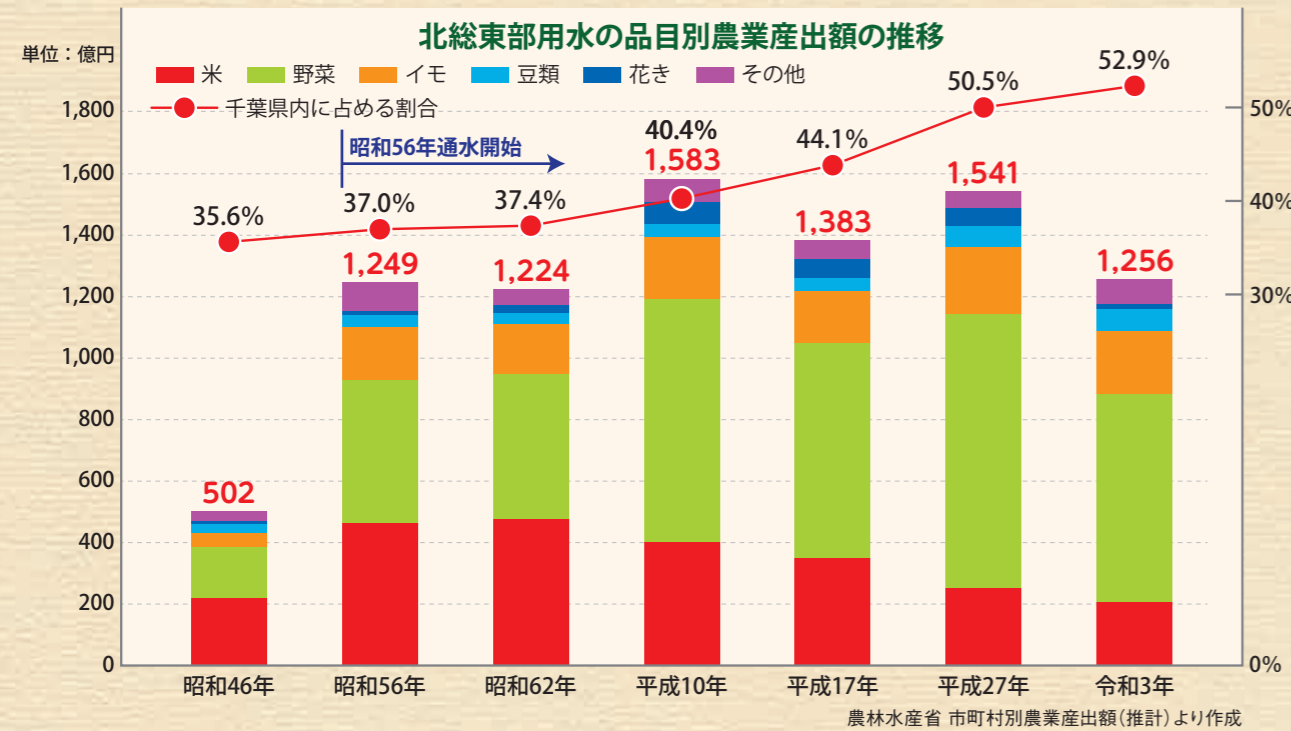
通水前の北総台地の様子



返田揚水機場パイプライン埋設時の様子

～北総東部用水通水による農業の発展～

北総東部用水の完成により、スプリンクラーやチューブかんがいが行われるようになり、北総台地で安定した稲作や畑作が可能となり、これまで作付していたさつまいもなどの根菜類の収穫量が増えるとともに、露地のにんじん、里芋、大根などや、ビニールハウスによるほうれん草などの葉物野菜、きゅうりなども生産されるようになりました。



～北総台地で生産される主な農産物～



にんじん



千葉県は収穫量が全国第2位であり、北総台地で栽培される秋冬にんじんは、高品質のにんじんとして知られています。



やまといも



香取市、多古町などで栽培されており、北総東部用水の整備による水の安定供給と地元営農部の栽培技術改善によって県内有数の産地となっています。



お米



北総東部地域では「コシヒカリ」、「ふさこがね」、「ふさおとめ」が主要な品種です。



葉物野菜

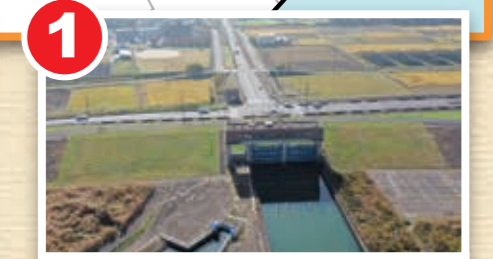
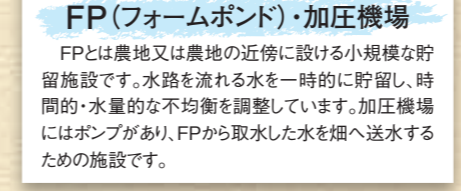
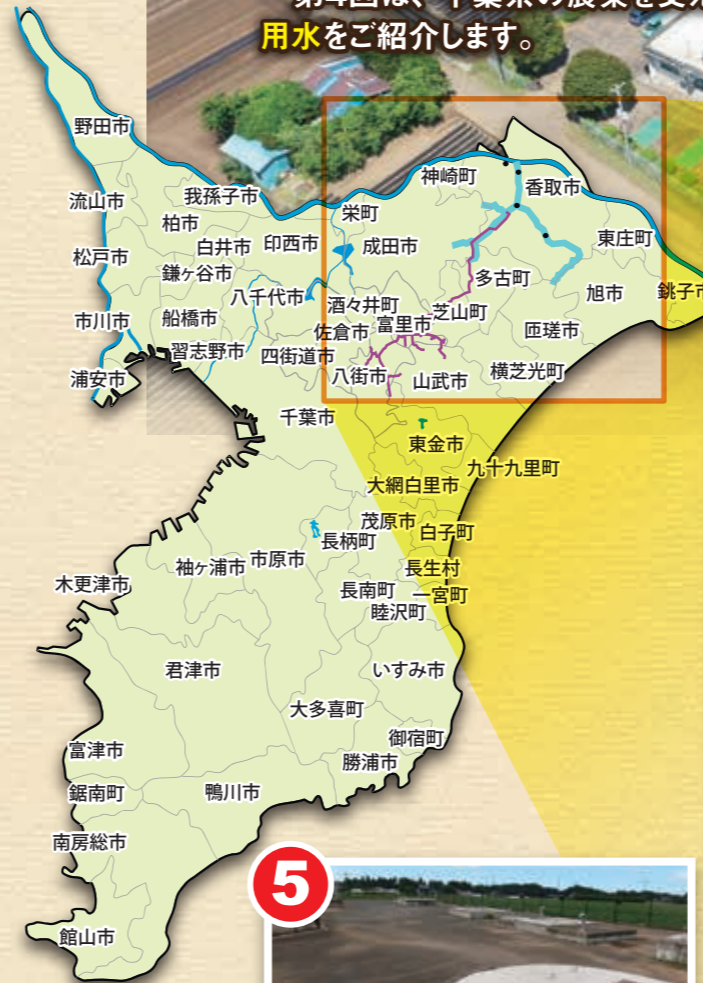


北総東部用水が通水を開始した後、施設栽培を行うビニールハウスが増え、ニラ、葉物野菜などが生産されるようになりました。

水資源機構が管理するダム、水路、堰など様々な「水の郷」を巡る企画。水とともに生きる魅力あふれる町を訪れ、そこで働く人々をご紹介します。

第4回は、千葉県の農業を支える北総台地に広がる北総東部用水をご紹介します。

水の郷めぐり 第4回 北総東部用水



北総台地の発展を促す力

水資源機構の職員のみならず、北総台地の農業をささえている方々があります。携わる仕事、やりがい、生産される農作物の魅力などお話を伺いました。

Interview 01



北総東部用水の農家さん
鈴木さん(千葉県多古町在住)

私は、主にヤマトイモの生産を行っています。そのヤマトイモは、農薬と化学肥料の量を半分以下で栽培された環境にやさしい「ちばエコ農産物」に認定されています。ヤマトイモの生産には水が必須で、安定的な水の供給がなければ立派に育たないので日頃から水には感謝しています。北総東部用水から届けられる水は、水量を畑ごとに調整でき、必要なタイミングで散水できるので便利です。水路の維持管理も、土地改良区にすべて任せるのではなく、私たちも自分事として捉えるよう地域の役員一体となって行っています。

多古町はヤマトイモのほか「多古米」などのブランド米も生産しており農業が盛んな町です。一番の農業の魅力は、自分が育てた作物を食べてくれる消費者からお礼の連絡があったときは嬉しいですね。今後も、安全な水の供給や用水施設の老朽化への対策にも努めてもらえるようお願いいたします。

北総東部用水は、利根川から取水しています。北総東部土地改良区にかかる受益は千葉県の北東部に位置する香取市を含む4市、多古町を含む3町に用水を供給しています。この北総台地の農地を潤えるよう揚水機場の操作とパイプライン等の施設管理を主にしています。

北総地域は年間を通じて気候が暖かく土壌も肥沃で千葉県有数の農業地帯として発展しており、スイカ、にんじん、さといも、落花生などの作物が主に生産されています。私たちの主な日常業務は、農地まで用水を送る施設の操作業務、草刈りや点検などの維持管理です。仕事をすることで、送水路・水路・ポンプ施設・調整水槽・加圧機場などの管理施設が膨大で事故などを起こさぬよう細心の注意を払い、効率的な送水業務を行っています。また、緊急事態が起きた場合早急に現場へ駆けつけるなど神経を使う仕事です。

水の需要時期が重なる春・夏に行う配水操作は大変です。特に高低差のある末端地域への配水操作は、水量を均等に配水するのに一番苦労します。また、施設が建設されて40年以上経ち、老朽化が進み、パイプの継ぎ目から漏水等が起りやすくなっており管理が大変です。

農業を始めて15年になり、主にピーマン、にんじんを栽培しております。夏場はにんじん等の栽培で水の利用が多くなり、作物を育てる上で水は必要不可欠です。もともと使っていた共同井戸のポンプが壊れてしまったことをきっかけとして、井戸の水と比べて、使い勝手が良い点、安定的に供給できる点、水量を調節できる点などのメリットがある北総中央用水の水を利用するようになりました。

北総東部土地改良区は年間を通じて気候が暖かく土壌も肥沃で千葉県有数の農業地帯として発展しており、スイカ、にんじん、さといも、落花生などの作物が主に生産されています。私たちの主な日常業務は、農地まで用水を送る施設の操作業務、草刈りや点検などの維持管理です。仕事をすることで、送水路・水路・ポンプ施設・調整水槽・加圧機場などの管理施設が膨大で事故などを起こさぬよう細心の注意を払い、効率的な送水業務を行っています。また、緊急事態が起きた場合早急に現場へ駆けつけるなど神経を使う仕事です。

Interview 02



北総東部土地改良区
久保木さん・齊藤さん

しかし、北総東部用水を使用して、笑顔で収穫をしている農家の皆さんを見ると仕事のやりがいを感じます。今後も安心と安定した水の供給が出来るように、北総中央用水土地改良区さん、水資源機構さんと一体となって、安定供給に努めたいです。

北総東部用水の電気設備や機械設備を対象とした維持管理の積算・監督等に関する業務を行っています。設備が故障した時に応急復旧の対応が即座に完了できたときはほっとします。重大な故障が発生しないためにも、設備の機能回復や向上を目指して日々業務に努めています。北総東部用水で届けられた水を使って作られた農産物を見ると、日々の水管理が農家さんを支えることを実感すると嬉しい気持ちになりますね。これからも関係機関の皆様と連携して信頼を築いていきたいです。

北総東部土地改良区は年間を通じて気候が暖かく土壌も肥沃で千葉県有数の農業地帯として発展しており、スイカ、にんじん、さといも、落花生などの作物が主に生産されています。私たちの主な日常業務は、農地まで用水を送る施設の操作業務、草刈りや点検などの維持管理です。仕事をすることで、送水路・水路・ポンプ施設・調整水槽・加圧機場などの管理施設が膨大で事故などを起こさぬよう細心の注意を払い、効率的な送水業務を行っています。また、緊急事態が起きた場合早急に現場へ駆けつけるなど神経を使う仕事です。

Interview 03



北総中央用水の農家さん
小山さん(千葉県八街市在住)

北総東部土地改良区は年間を通じて気候が暖かく土壌も肥沃で千葉県有数の農業地帯として発展しており、スイカ、にんじん、さといも、落花生などの作物が主に生産されています。私たちの主な日常業務は、農地まで用水を送る施設の操作業務、草刈りや点検などの維持管理です。仕事をすることで、送水路・水路・ポンプ施設・調整水槽・加圧機場などの管理施設が膨大で事故などを起こさぬよう細心の注意を払い、効率的な送水業務を行っています。また、緊急事態が起きた場合早急に現場へ駆けつけるなど神経を使う仕事です。

北総東部土地改良区は年間を通じて気候が暖かく土壌も肥沃で千葉県有数の農業地帯として発展しており、スイカ、にんじん、さといも、落花生などの作物が主に生産されています。私たちの主な日常業務は、農地まで用水を送る施設の操作業務、草刈りや点検などの維持管理です。仕事をすることで、送水路・水路・ポンプ施設・調整水槽・加圧機場などの管理施設が膨大で事故などを起こさぬよう細心の注意を払い、効率的な送水業務を行っています。また、緊急事態が起きた場合早急に現場へ駆けつけるなど神経を使う仕事です。

Interview 04



北総中央用水土地改良区
石橋さん・石川さん

北総東部土地改良区は年間を通じて気候が暖かく土壌も肥沃で千葉県有数の農業地帯として発展しており、スイカ、にんじん、さといも、落花生などの作物が主に生産されています。私たちの主な日常業務は、農地まで用水を送る施設の操作業務、草刈りや点検などの維持管理です。仕事をすることで、送水路・水路・ポンプ施設・調整水槽・加圧機場などの管理施設が膨大で事故などを起こさぬよう細心の注意を払い、効率的な送水業務を行っています。また、緊急事態が起きた場合早急に現場へ駆けつけるなど神経を使う仕事です。



千葉用水総合管理所
調整課 亀井 隆博

施設の老朽化対策等を行う事業を計画するため、関係する機関の方々と相談や調整しながら資料等を作成しています。関係機関の皆様と一体となって業務を行うので「調整する力」を養えるのが仕事の魅力です。その分、大きな責任を伴いますので関係機関や上司とよくコミュニケーションを取りながら業務を進めています。

職場の魅力

事務所は八千代市にあり、都市部に近く実家のある岡山県に帰るのにアクセスが良くて魅力的です。



職員 Interview



千葉用水総合管理所 北総管理所
永倉 亮・神代 隆之

北総東部用水の電気設備や機械設備を対象とした維持管理の積算・監督等に関する業務を行っています。設備が故障した時に応急復旧の対応が即座に完了できたときはほっとします。重大な故障が発生しないためにも、設備の機能回復や向上を目指して日々業務に努めています。北総東部用水で届けられた水を使って作られた農産物を見ると、日々の水管理が農家さんを支えることを実感すると嬉しい気持ちになりますね。これからも関係機関の皆様と連携して信頼を築いていきたいです。

地域の魅力

北総管理所がある香取市は、人気の小江戸「佐原」や香取神宮があるので街並みに風情があります。

所長インタビュー



千葉用水総合管理所長
小栗 幸樹

重要な役割を担っています。首都圏への生鮮野菜等の供給に重要な役割を果たすとともに、東関東や圏央道等の広域道路ネットワークが構築され、今後は成田国際空港の機能強化が計画されているなど、ますます本地域の役割が増大し発展することが期待されています。

水資源機構が実施する千葉県内の5事業は、千葉用水総合管理所と出先管理所による総管体制で管理運用を行っており、本地域では「北総管理所」の精鋭部隊が、現場の最前線で、県農業事務所や土地改良区と連携しつつ、北総東部用水施設の管理・施設管理に日々奔走しています。

一方で、管理開始から40年を経過する中で、機械・電気通信設備やパイプライン等の老朽化、大規模地震に対する耐震性能の確保などの課題への対応が求められており、将来にわたってその用水供給能力を効率的かつ最大限に発揮させるための整備計画についても、関係機関と協力して検討を進めているところです。

今後とも職員一丸となって、地域の期待に応えられるよう、北総東部用水の適切な運用と保全に努めてまいります。